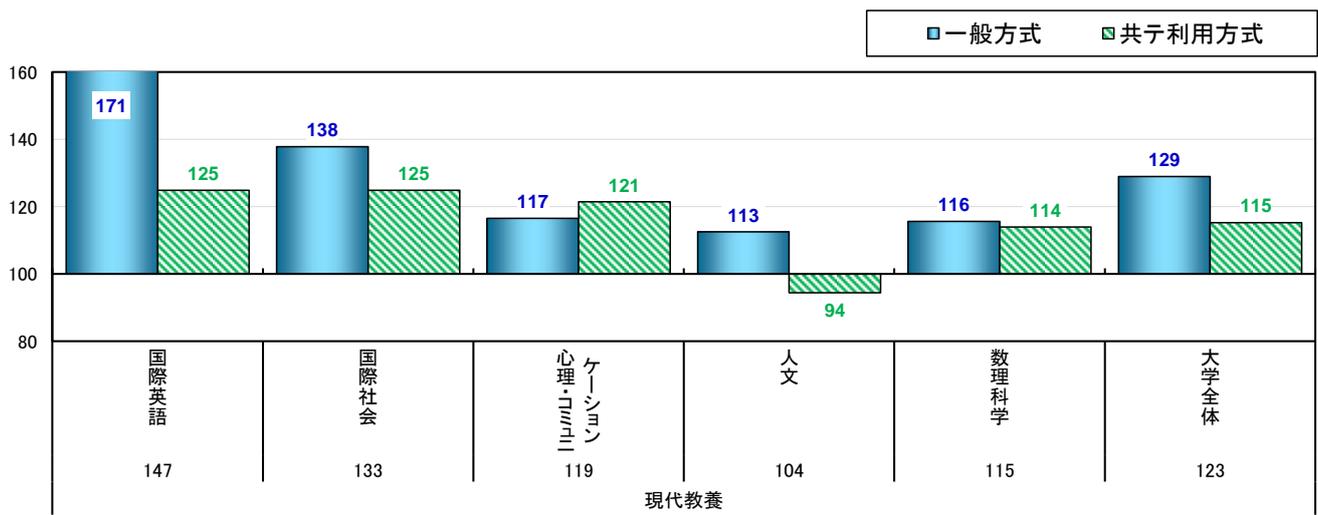


東京女子大：大学全体では大幅増加で4年ぶり増加、国際系2学科の増加目立つ 一般：+1,146人 共テ：+496人



主な入試変更点 選抜方法：現代教養(国際英語)〈一般・前期英語外部試験利用〉〈一般・前期英語 Speaking Test 利用〉
 …利用方法：出願要件、得点換算 ※対象試験：英検2級以上(各技能480以上)、TEAP(各技能55以上)、TEAP CBT(各技能100以上)
 →利用方法：出願要件、得点換算 ※対象試験：英検2級以上(R、L各480以上、W、S各432以上)、TEAP(R、L各55以上、W、S各50以上)
 TEAP CBT(R、L各100以上、W、S各90以上)
 入試科目：現代教養(心理・コミュニケーション/コミュニケーション)〈共テ・3月期専攻特色型〉
 …数①+外→外+(国 or 歴公 or 数① or 数② or 理 or 理基2)

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、3年連続減少の反動で1,642人(123)の大幅増加。学科別では、全ての学科で増加、特に国際系2学科の増加が目立った。方式別では、一般方式は、1,146人(129)の大幅増加で4年ぶり増加。特に〈英語外部試験利用〉(168)は激増。共通テスト利用方式は、496人(115)の大幅増加で3年ぶり増加。全ての方式で増加し、特に〈3月期専攻特色型〉(170)、〈前期5科目型〉(136)、〈3月期国公立併願型〉(130)はいずれも大幅増加。いずれも共通テスト受験後に願出可能なため、共通テストの平均点ダウンの影響を加味した合格目標ライン予想をもとにした追加出願の増加も影響。

〈一般方式〉

- 現代教養(国際英語)(171)は、前年度減少率40%以上の大幅減少の反動で激増。募集人員(募集人員の前年度対比指数93)の減少もあって、志願倍率は6.4倍→11.8倍にアップ。方式別では、出願要件を緩和した〈英語外部試験利用〉(269)は、約2.7倍の激増。
- 現代教養(国際社会)(138)は、3年連続減少の反動で大幅増加。専攻別では、全ての専攻で増加。特に(国際社会/社会学)(189)は激増、(国際社会/コミュニティ構想)(159)、(国際社会/経済学)(135)はいずれも大幅増加。
- 現代教養(心理・コミュニケーション)(117)は2年連続減少の反動で大幅増加。専攻別では、2専攻とも大幅増加で、(心理・コミュニケーション/コミュニケーション)(117)は2年連続増加、(心理・コミュニケーション/心理学)(115)は旧(人間科学/心理学)時代から前年度の反動による増減が継続。
- 現代教養(人文)(113)は、前年度大幅減少の反動で増加。専攻別では、前年度3専攻全てが大幅減少だったが、反動で(人文/哲学)(161)は激増、(人文/歴史文化)(112)は増加。一方で、(人文/日本文学)(94)は2年連続減少。
- 現代教養(数理科学)(116)は前年度大幅減少の反動で大幅増加。専攻別では、(数理科学/情報理学)(136)は前年度大幅減少の反動と系統への高い人気から大幅増加。

〈共通テスト利用方式〉

- 現代教養(国際英語)(125)は3年連続減少の反動で大幅増加。方式別では、〈前期5科目型〉(280)は2.8倍の激増。
- 現代教養(国際社会)(125)は、2年連続減少の反動で大幅増加。専攻別では4専攻中3専攻が増加で、特に(国際社会/社会学)(182)、(国際社会/経済学)(151)はいずれも大幅増加。一方で、(国際社会/国際関係)(97)はやや減少で3年連続減少。
- 現代教養(心理・コミュニケーション)(121)は、大幅増加で2年連続増加。専攻別では、(心理・コミュニケーション/コミュニケーション)(145)は2年連続大幅増加。全ての方式で増加し、方式別では、数学を必須から選択にすることで受験生への門戸を広げた〈3月期専攻特色型〉(1200)、〈3月期国公立併願型〉(400)、〈5科目型〉(184)の激増が目立った。一方で、(心理・コミュニケーション/心理学)(97)は4年連続減少。
- 現代教養(人文)(94)は、やや減少で改組後4年連続減少、改組前からだと6年連続減少。専攻別では、(人文/日本文学)(69)は前年度増加の反動で大幅減少。(人文/哲学)(93)はやや減少で4年連続減少。一方で、(人文/歴史文化)(135)は大幅増加で、前年度の反動による大幅な増減が継続。
- 現代教養(数理科学)(114)は、増加。志願者数は500人を上回った。専攻別では、2学科とも増加で、(数理科学/数学)(118)は前年度減少の反動で大幅増加、(数理科学/情報理学)(110)は系統への高い人気もあり3年連続増加。